



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社いつも 上場取引所 東  
 コード番号 7694 URL https://itsumo365.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 守  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0コーポレート本部長 (氏名) 杉浦 通之 (TEL) 03-4580-1365  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (オンライン開催)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,839	5.3	256	△60.6	110	△79.9	95	△82.0	△337	—
2022年3月期第3四半期	8,396	—	649	—	550	—	530	—	342	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △337百万円( —%) 2022年3月期第3四半期 342百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第3四半期	円 銭 △58.87	円 銭 —
2022年3月期第3四半期	60.93	57.18

(注) 1. 当社グループは、前第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

※調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+M&amp;Aにかかる取得費用

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,693	2,077	31.0
2022年3月期	6,926	2,407	34.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,077百万円 2022年3月期 2,407百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,133	4.1	389	△50.6	193	△67.9	173	△70.2	△249	—	△43.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費+M&amp;Aにかかる取得費用

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	5,782,780株	2022年3月期	5,691,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	一株	2022年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	5,739,740株	2022年3月期3Q	5,623,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響の緩和と経済活動の正常化が進む一方で、ウクライナ紛争の長期化、原材料価格の高騰、円安の進行など景気減退要因は存在感を増してきており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの事業を取り巻く環境は、コロナ禍での巣ごもり消費による一時的な需要が落ち着きつつありますが、依然として中長期的には今後もECでの購買は増加していくものと見込んでおります。株式会社富士経済が公表した「通販・eコマースビジネスの実態と今後2022」によれば、2021年のEC市場の規模は12.5兆円、さらに2022年の見込みでは13.4兆円、2023年では14.2兆円と、EC市場は着実に成長を続けていくと予想されています。

このような経営環境の中、当社グループは「日本の未来をECでつくる」をミッションとして掲げ、メーカー企業向けEC事業の総合支援及びD2C・ECブランドのM&A・成長支援サービスを提供してまいりました。

ECマーケットプレイスサービスにおいては、既存ブランドが堅調に推移し、前年同四半期と比較し増収となりました。取扱い開始から間もない新規ブランドも着実に成長を進め、売上高も徐々に増加しております。また、ブランドバリューアップ(自社ブランドの取得・開発)では、冬季に需要の高い商品の売れ行きが好調であり、売上増加に寄与いたしました。引き続き、各ブランドのさらなる成長に向けて、注力してまいります。

ECマーケティングサービスにおいては、継続契約の順調な積み上げと、サービス品質の向上、複数サービスの利用促進により平均単価が上昇し、前年同四半期と比較し増収となりました。また、本サービスにおける売上高のうち、契約期間に応じた安定的な収益を継続的に見込むことができる積み上げ型のビジネスモデルであるストック売上高の割合は、当第3四半期連結累計期間で93.5%となり、安定した収益の獲得に貢献しております。

これらの結果、ECマーケットプレイスサービスの売上高は6,838,094千円、ECマーケティングサービスの売上高は2,001,377千円となり、当第3四半期連結累計期間の売上高8,839,472千円(前年同四半期比5.3%増)、営業利益110,622千円(前年同四半期比79.9%減)経常利益95,410千円(前年同四半期比82.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失337,925千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益342,626千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、6,693,711千円(前連結会計年度末比233,048千円減少)となりました。その主な内訳は、現金及び預金が2,764,443千円、売掛金が1,397,604千円、商品及び製品が1,690,249千円、固定資産が636,882千円であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、4,616,313千円(前連結会計年度末比97,304千円増加)となりました。その主な内訳は、買掛金が1,274,384千円、長期借入金が1,491,408千円、短期借入金702,039千円、1年内返済予定の長期借入金602,015千円であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、2,077,398千円(前連結会計年度末比330,353千円減少)となりました。その主な内訳は、資本金が740,493千円、資本剰余金が728,993千円、利益剰余金が607,824千円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ前回発表時の予算を修正いたしました。詳細は、2023年2月14日公表の「連結業績予想の再修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,122,019	2,764,443
売掛金	872,095	1,397,604
商品	842,102	1,690,249
仕掛品	15,032	3,763
その他	209,767	201,068
貸倒引当金	△757	△300
流動資産合計	6,060,260	6,056,829
固定資産		
有形固定資産	20,264	15,971
無形固定資産		
のれん	326,533	—
その他	64,551	34,104
無形固定資産合計	391,085	34,104
投資その他の資産		
その他	459,549	591,414
貸倒引当金	△4,400	△4,608
投資その他の資産合計	455,149	586,805
固定資産合計	866,499	636,882
資産合計	6,926,760	6,693,711
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	703,950	1,274,384
短期借入金	300,000	702,039
1年内返済予定の長期借入金	704,494	602,015
未払法人税等	129,290	23,425
賞与引当金	128,116	53,874
その他	618,028	465,106
流動負債合計	2,583,879	3,120,844
固定負債		
長期借入金	1,931,069	1,491,408
その他	4,060	4,060
固定負債合計	1,935,129	1,495,468
負債合計	4,519,008	4,616,313
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	736,752	740,493
資本剰余金	725,252	728,993
利益剰余金	945,747	607,824
自己株式	—	△39
株主資本合計	2,407,751	2,077,271
新株予約権	—	126
純資産合計	2,407,751	2,077,398
負債純資産合計	6,926,760	6,693,711

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	8,396,350	8,839,472
売上原価	6,163,328	6,692,819
売上総利益	2,233,021	2,146,652
販売費及び一般管理費	1,682,226	2,036,030
営業利益	550,795	110,622
営業外収益		
受取利息	41	251
雑収入	2,728	15,533
その他	1,114	1,300
営業外収益合計	3,884	17,084
営業外費用		
支払利息	7,120	9,296
支払手数料	15,088	16,597
その他	2,005	6,402
営業外費用合計	24,214	32,295
経常利益	530,465	95,410
特別利益		
負ののれん発生益	4,471	—
保険戻金	—	21,851
特別利益合計	4,471	21,851
特別損失		
減損損失	—	225,391
固定資産除却損	—	18,107
その他	—	22,130
特別損失合計	—	265,629
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	534,936	△148,366
法人税、住民税及び事業税	197,497	66,366
法人税等調整額	△5,187	123,192
法人税等合計	192,310	189,558
四半期純利益又は四半期純損失(△)	342,626	△337,925
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	342,626	△337,925

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	342,626	△337,925
四半期包括利益	342,626	△337,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	342,626	△337,925

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。